

システム制御情報学会
サステイナブル・フレキシブル・オートメーション（SFA）研究分科会
第5回研究例会「グローバル生産が抱える課題とそのマネジメント」

共催：精密工学会総合生産システム専門委員会
日本材料学会生産科学部門委員会
ものづくりIT研究会

第5回研究例会では、急激に拡大するグローバル生産の課題とそのマネジメントについて取り上げます。グローバル生産の伸びとともに、国内製造業には、1) 海外従業員数の増加に伴う人材の量と質の確保、2) 海外生産能力の拡大に伴うさまざまなリソースの確保、3) 海外支援の工数増加への対応、などの課題が明らかになってきており、今までとは視点の異なる生産体制やモノづくりのマネジメントが要求されるようになってきました。今回は、これらの点を踏まえ、グローバル生産のキーファクタである企業間生産マネジメントの連携に関する最新研究や、海外生産を先進的に進めている企業の実例などについての講演会を開催させていただきます。また、例会後には簡単な懇親会を予定しております。ぜひご参加頂くようご案内させていただきます。

システム制御情報学会 SFA 研究分科会
主査 杉村延広

◇日時：2012年1月13日（金） 13:30～17:00（例会後に技術交流会を開催予定）

◇場所：大阪大学中ノ島センター 3階 301（多目的スペース1）室

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

◇プログラム：

13：30～14：30 講演1「内示情報と生産計画ー持続可能な社会における先行需要情報の活用ー」

県立広島大学 経営情報学部 上野 信行 氏

講演概要：内示情報などの先行需要情報を利用して廃棄ロスを少なくし、資源の利用効率を高めることは、持続可能な社会におけるモノづくりの基本である。本講演では、自動車産業におけるメーカーとサプライヤーを事例に、内示情報を生産計画に効果的に活用する理論と方法を説明する。まず、内示情報の性質を明らかにし、これらを用いて生産計画を立てる数理モデルの考え方、解法の性質、不確実性を扱う新しい在庫充当指標、適用法、有限期間在庫理論の必要性について述べる。

14：45～15：45 講演2「デンソーのグローバル生産体制とデンソー流モノづくりの浸透について」

デンソー 生産企画部 光行 恵司 氏

講演概要：デンソーは、グローバル自動車部品サプライヤーとして、海外生産拠点数は92拠点を数え、売り上げ、従業員数ともに海外と国内でほぼ同等となってきた。新興国サプライヤーの台頭、M&Aによるメガサプライヤーの誕生など国際競争が激化していく中、競争優位を獲得するためのグローバル生産戦略と、その実行上カギとなるデンソー流モノづくりの強みの海外拠点への移植、浸透について事例を交えて紹介する。

16：00～17：00 講演3「グローバル拠点の立上げ・改善・SCM構築の経験から」

東芝 生産技術センター 古賀 康隆 氏

講演概要：グローバルトップへの挑戦を続けている(株)東芝のコーポレートスタッフである生産技術者が、グローバル拠点の立上げ・改善・SCM構築に取組んだ経験と、SCM構築の中で新たに取組んでいる内容を紹介する。文化・歴史・言葉の違う国々で、対象製品、製造プロセスの違うビジネスに対して、グローバル生産立上げ・改善を行なわなければならない、そのための苦労や工夫をエピソードを交えて紹介する。

17:15～18:45 技術交流会

◇参加資格：サステイナブル・フレキシブル・オートメーション（SFA）研究分科会会員および共催委員会などの会員。

参加希望の方は、12月25日までに、sfa-staff@ml.osakafu-u.ac.jpまで、メールにて、①ご所属、②お名前、③E-メールアドレスをご連絡いただくようお願いいたします。

※参加ご希望の方は必ず事前に入会の手続きをお済ませ下さい。

◇問い合わせ先：〒599-8531 堺市中区学園町 1-1

大阪府立大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 機械生産工学研究室内 SFA 研究分科会事務局行

E-mail：sfa-staff@ml.osakafu-u.ac.jp TEL：072-254-9207 FAX：072-254-9904

ホームページ：<http://www.eng.osakafu-u.ac.jp/SFA/>

アクセスマップ

Access Map



※大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通りに面しております。
10階建ての最上階がガラス張りで薄緑色に見える建物が大阪大学中之島センターです。
(写真参照)